

# 安野さん(敦賀市松陵中) 暗算十段

敦賀市松陵中2年の安野光咲さん

(13)が、全国珠算教育連盟(全珠連)

の暗算検定で、最高位の十段に合格し

た。全珠連真支部によると、県内では

6人目で、過去最年少の快挙。九段合

格から丸2年かけて達成し、安野さん

は「夢に見ていた合格で本当につれし

い」と喜んでいる。(藤田有美)

県内最年少で合格



暗算検定で十段に合格した安野さん。6日、敦賀市平和町の「はっけんすくくる つえの へいわちよう教室」

全珠連最高位

## 2年かけ達成「次は珠算で」

が不鮮明であるとして2回(合格を逃したという。「とても悔しい反面、もう諦めたいと思ったこともある」と振り返る。

そんな中で安野さんが頑張ったのは、同じそろばん教室の友達のおかげだったと話す。部活動で疲れても週2回通う教室では友達と励まし合ってきた。安野さんは「高め合える友達がいることが、そろばんの楽しみの一つ。合格を報告した時、友達が自分のことのように喜んでくれた」と笑顔を見せる。

試験はかけ算、割り算、見取り算の3種目あり、各40問を3分で解く。各種目200点満点で得点によって段位が決まり、十段は全種目190点以上が必要となる。安野さんは11月に行われた試験で、かけ算が195点、割り算は200点、見取り算190点だった。特に難しかったのは、見取り算だったという。終盤には5桁を含む八つの数字を足したり引いたりする問題もあり、難易度が高い上、答えを記入するのにも時間がかか

6歳でそろばんを始めた安野さんを指導してきた「はっけんすくくる つえの へいわちよう教室」(同市平和町)の上野雄大塾長は「小さい時から周りの友達を巻き込んで、熱心に取り組んできた。集中力は群を抜いている」と評価する。

書いた答えが読みづらければ不正解と見なされ、安野さんは十段に挑戦した2年間で、合格点に届いていながらも数字

安野さんは現在、珠算は八段。「次は珠算で十段を取りたい。中学生のうちには達成するのが目標」と抱負を語った。